

2019年度 第3四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

受注量については「減少」もしくは「やや減少」と回答した企業の割合が過半数となり、DIも7業種全てでマイナス値となるなど、全体的に減少傾向が見られる結果となった。

今後の見通しについても受注量同様に全ての業種でDIがマイナス値となり、前回調査までに引き続き全体的に慎重な見通しとなった。

また、2018年末ごろから続く受注量の減少に伴い、資金繰りについては全体的に若干の悪化が見られ、採算状況についても2014年3月調査以来約5年半ぶりに「赤字」と回答した企業の割合が2割を超えた。

受注余力については、7割以上の企業が「受注余力あり」と回答した。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 全体的に減少傾向が見られる。
- (2)受注見通し : 全体的に慎重な見通し。
- (3)受注単価 : 全体的に大きな変化はなかった。
- (4)資金繰り : 全体的に若干の悪化が見られた。
- (5)採算状況 : 一部の業種で「赤字」企業の割合が増加した。
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が74.1%と、前期と比較して5.5ポイントの上昇となった。
(「受注余力あり」企業が増加した＝マイナス傾向)

<分析>

調査対象企業のうち約40社に対して、訪問等により景況感についてヒアリングを実施。

米中貿易摩擦の影響を懸念する声は根強く、世界経済の減速により自動車業界や建設機械業界は一部の大手メーカーによる発注案件や試作・開発案件を除いて低調に推移している様子が伺えた。

さらに、設備投資の先行きを見通すうえで重要な指標となる工作機械業界の低迷による影響も顕著に表れており、同業界からの発注に頼る受注企業からは、前年と比べて大幅な受注減であるとの声が多く聞かれた。

また、今年から本格的な商用サービス開始となる5Gによる半導体業界の動向に対する意見としては、大手メーカーの需要増の影響を期待する声もあったが、実際に足元の受注に対する影響を受けている企業はそれほど見受けられなかった。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2019年10月～12月
(2019年12月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 259社 (回答率 86.3%)

公益財団法人 **京都産業21**

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん
の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2019年12月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

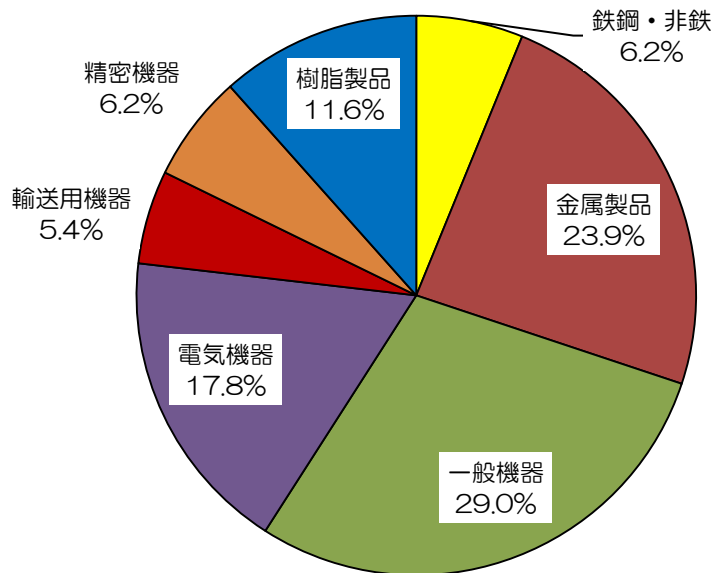
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	259社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	16社	（ 6.2% ）	
金属製品関係	62社	（ 23.9% ）	
一般機器関係	75社	（ 29.0% ）	
電気機器関係	46社	（ 17.8% ）	
輸送用機器関係	14社	（ 5.4% ）	
精密機器関係	16社	（ 6.2% ）	
樹脂製品関係	30社	（ 11.6% ）	
④ 回答率	86.3%	〔前回：84.7%〕	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 1.9%		1 1.6%		1 2.2%			3 10.0%
~300万円	17 6.6%		4 6.5%	3 4.0%	4 8.7%	2 14.3%	1 6.3%	3 10.0%
301~999万円	13 5.0%		3 4.8%	6 8.0%	1 2.2%	1 7.1%		2 6.7%
1000~2000万円	152 58.7%	10 62.5%	40 64.5%	46 61.3%	27 58.7%	3 21.4%	10 62.5%	16 53.3%
2001~5000万円	54 20.8%	4 25.0%	13 21.0%	17 22.7%	10 21.7%	2 14.3%	3 18.8%	5 16.7%
5000万円超	18 6.9%	2 12.5%	1 1.6%	3 4.0%	3 6.5%	6 42.9%	2 12.5%	1 3.3%
合 計	259 100%	16 100%	62 100%	75 100%	46 100%	14 100%	16 100%	30 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

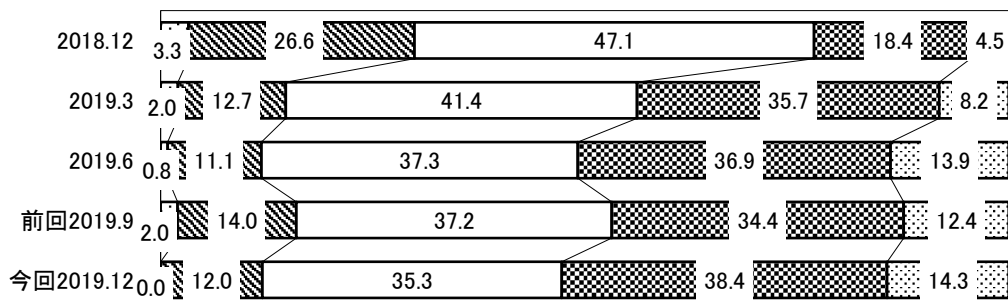
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	20 7.7%	4 25.0%	4 6.5%	5 6.7%	3 6.5%			4 13.3%
6~10人	30 11.6%	2 12.5%	5 8.1%	11 14.7%	3 6.5%	3 21.4%	3 18.8%	3 10.0%
11~20人	76 29.3%	2 12.5%	19 30.6%	29 38.7%	11 23.9%	1 7.1%	4 25.0%	10 33.3%
21~30人	36 13.9%	3 18.8%	12 19.4%	9 12.0%	5 10.9%		2 12.5%	5 16.7%
31~50人	40 15.4%	3 18.8%	9 14.5%	8 10.7%	12 26.1%	4 28.6%	2 12.5%	2 6.7%
51人以上	57 22.0%	2 12.5%	13 21.0%	13 17.3%	12 26.1%	6 42.9%	5 31.3%	6 20.0%
合 計	259 100%	16 100%	62 100%	75 100%	46 100%	14 100%	16 100%	30 100%

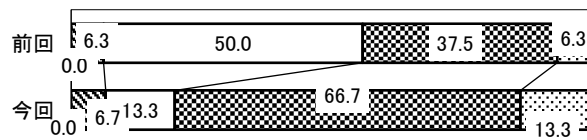
3. 調査結果

(1) 受注量について

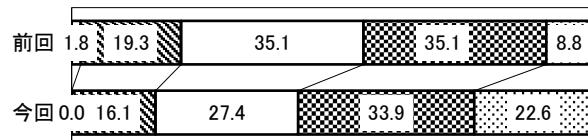
①全体 (258社) □増加 ■やや増加 □不変 ■やや減少 □減少 (%)



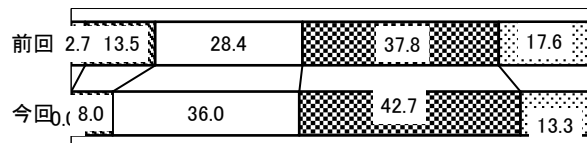
②鉄鋼・非鉄 (15社)



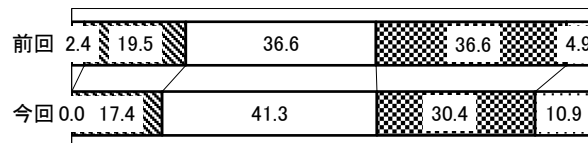
③金属製品 (62社)



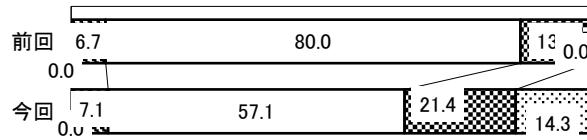
④一般機器 (75社)



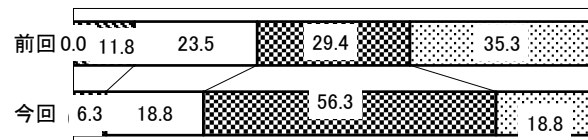
⑤電気機器 (46社)



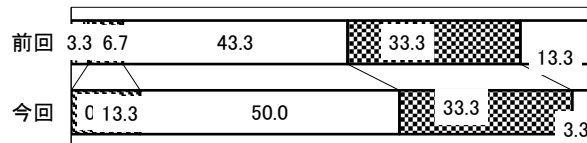
⑥輸送用機器 (14社)



⑦精密機器 (16社)



⑧樹脂製品 (30社)



○全体

・10月～12月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲40.7となり、前期（7月～9月期）のD I値▲30.8と比べ9.9ポイント低下し、全体的に減少傾向が見られる。

○業種別

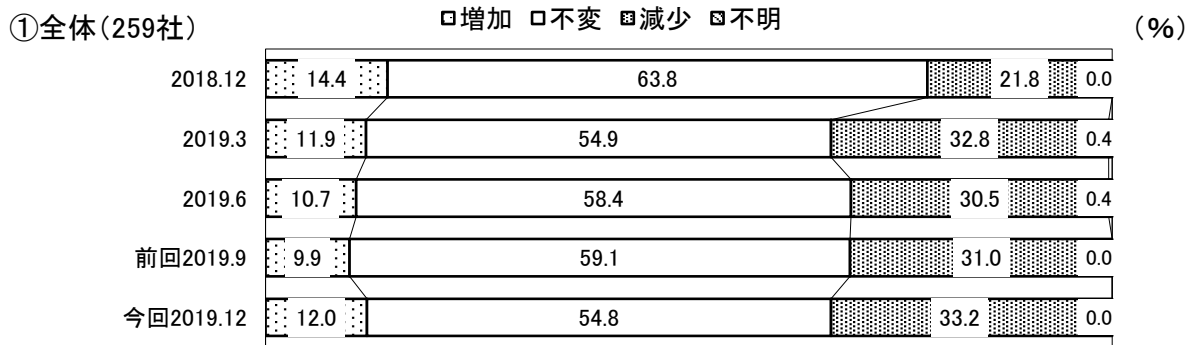
・D I値は、樹脂製品（▲23.3）、電気機器（▲23.9）、輸送用機器（▲28.6）、金属製品（▲40.4）、一般機器（▲48.0）、精密機器（▲68.8）、鉄鋼・非鉄（▲73.3）と7業種全てでマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、樹脂製品（13.3ポイント）の1業種のみで上昇。電気機器（▲4.3ポイント）、一般機器（▲8.8ポイント）、精密機器（▲15.9ポイント）、金属製品（▲17.6ポイント）、輸送用機器（▲22.0ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲35.8ポイント）の6業種で低下している。

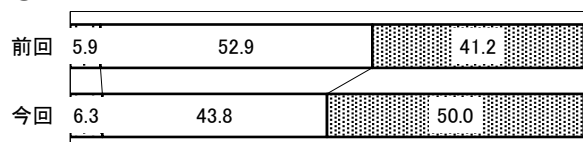
・鉄鋼・非鉄で「やや減少」もしくは「減少」と回答した企業の割合が大幅に増加した。

・樹脂製品で「やや減少」もしくは「減少」と回答した企業の割合が減少した。

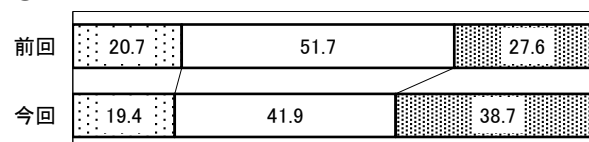
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



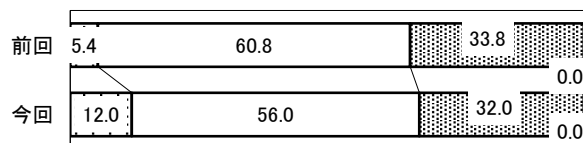
②鉄鋼・非鉄(16社)



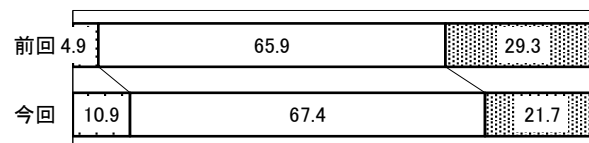
③金属製品(62社)



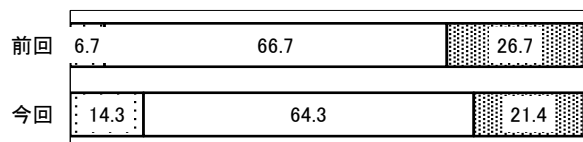
④一般機器(75社)



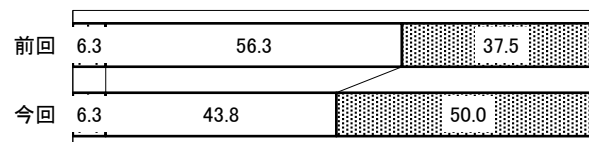
⑤電気機器(46社)



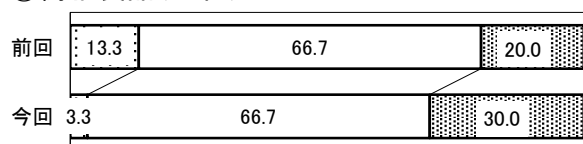
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・次期(1月~3月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲21.2となり、前期(7月~9月期)調査時のD I 値▲21.1と比べ0.1ポイント低下し、前回調査までに引き続き全体的に慎重な見通しとなった。

○業種別

・D I 値は、輸送用機器(▲7.1)、電気機器(▲10.8)、金属製品(▲19.3)、一般機器(▲20.0)、樹脂製品(▲26.7)、鉄鋼・非鉄(▲43.7)、精密機器(▲43.7)と、受注量についての調査同様に7業種全てでマイナスとなった。

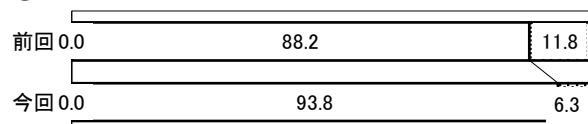
・D I 値を前期と比較すると、電気機器(13.6ポイント)、輸送用機器(12.9ポイント)、一般機器(8.4ポイント)の3業種で上昇。鉄鋼・非鉄(▲8.4ポイント)、金属製品(▲12.4ポイント)、精密機器(▲12.5ポイント)、樹脂製品(▲20.0ポイント)の4業種で低下している。

・鉄鋼・非鉄、精密機器で「減少」と回答した企業の割合が半数となった。

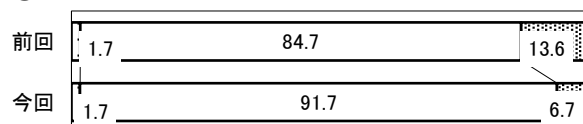
(3) 受注単価について



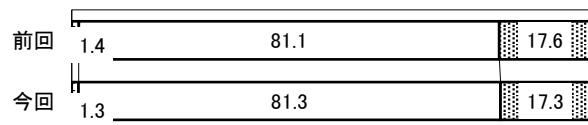
②鉄鋼・非鉄(16社)



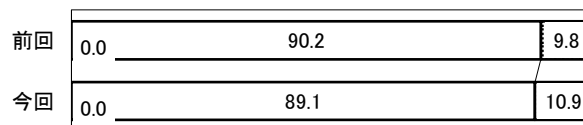
③金属製品(60社)



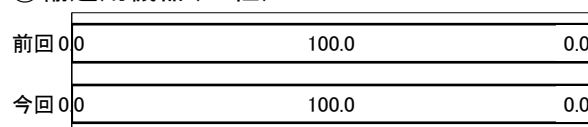
④一般機器(75社)



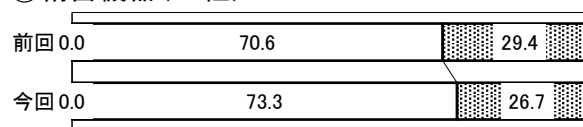
⑤電気機器(46社)



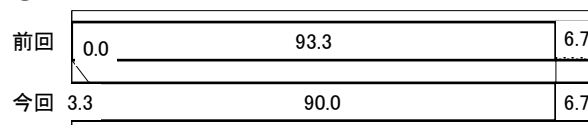
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(15社)



⑧樹脂製品(30社)



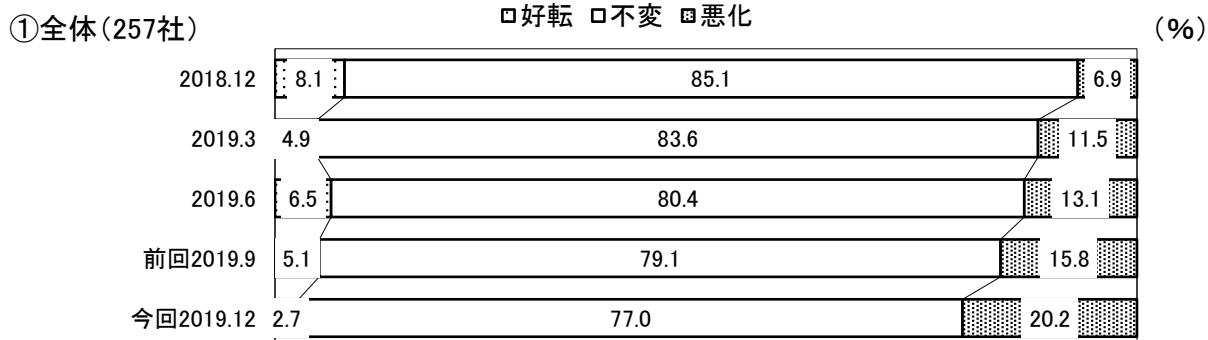
○全体

- ・10月～12月期の受注単価の業況判断D I (「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲10.1となり、前期(7月～9月期)のD I値▲12.6と比べて2.5ポイント上昇と、全体として大きな変化はなかった。

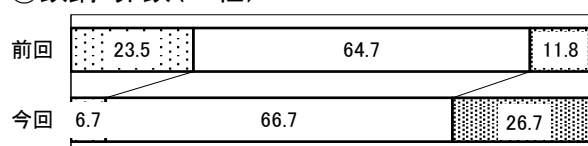
○業種別

- ・D I値は、全て「不変」との回答であった輸送用機器は±0となり、樹脂製品(▲3.4)、金属製品(▲5.0)、鉄鋼・非鉄(▲6.3)、電気機器(▲10.9)、一般機器(▲16.0)、精密機器(▲26.7)の6業種でマイナスとなった。
- ・D I値を前期と比較すると、輸送用機器のみ前期比±0ポイントとなり、金属製品(6.9ポイント)、鉄鋼・非鉄(5.5ポイント)、樹脂製品(3.3ポイント)、精密機器(2.7ポイント)、一般機器(0.2ポイント)の5業種で上昇。電気機器(▲1.1ポイント)の1業種のみ低下した。
- ・鉄鋼・非鉄、金属製品で「低下」と回答した企業の割合が減少した。

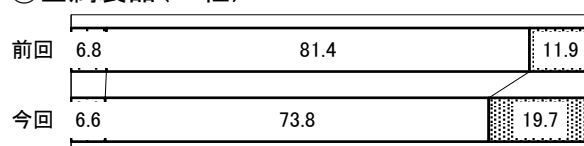
(4) 資金繰りについて



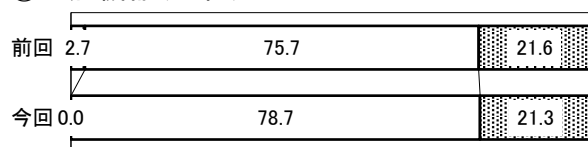
②鉄鋼・非鉄(15社)



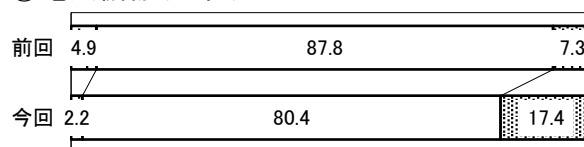
③金属製品(61社)



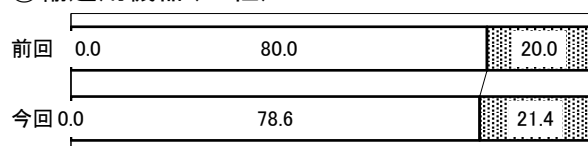
④一般機器(75社)



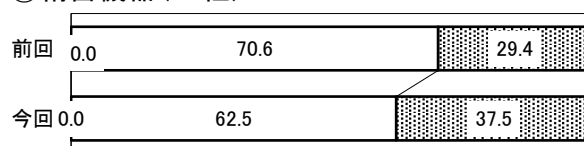
⑤電気機器(46社)



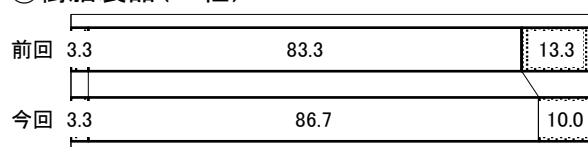
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(30社)



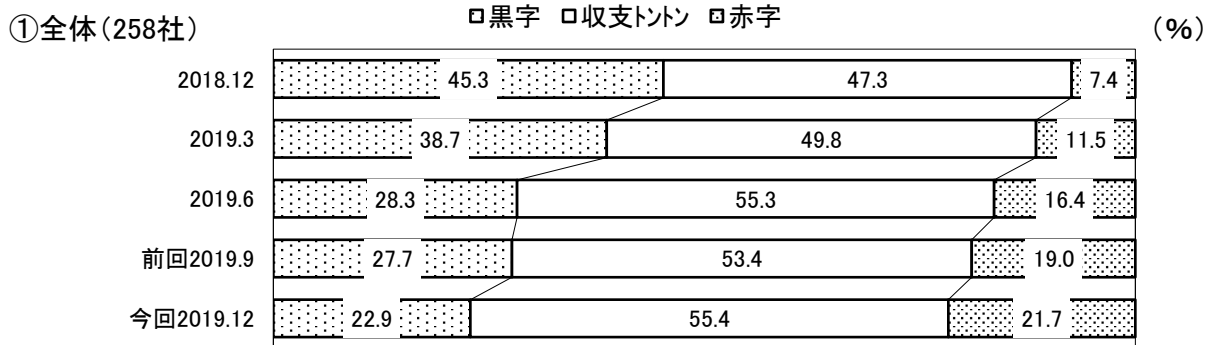
○全体

- ・10月～12月期の資金繰りの業況判断D I (「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲17.5となり、前期(7月～9月期)のD I値▲10.7と比べて6.8ポイント低下と、若干の悪化が見られた。

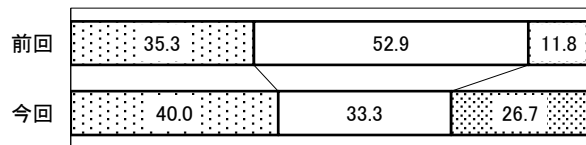
○業種別

- ・D I値は、樹脂製品(3.3)の1業種のみ上昇。金属製品(▲13.1)、電気機器(▲15.2)、鉄鋼・非鉄(▲20.0)、一般機器(▲21.3)、輸送用機器(▲21.4)、精密機器(▲37.5)の6業種でマイナスとなった。
- ・D I値を前期と比較すると、樹脂製品(3.3ポイント)の1業種のみ上昇。輸送用機器(▲1.4ポイント)、一般機器(▲2.4ポイント)、金属製品(▲8.0ポイント)、精密機器(▲8.1ポイント)、電気機器(▲12.8ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲31.7ポイント)の6業種で低下した。
- ・鉄鋼・非鉄、電気機器で「好転」の割合が減少し、「悪化」の割合が増加した。

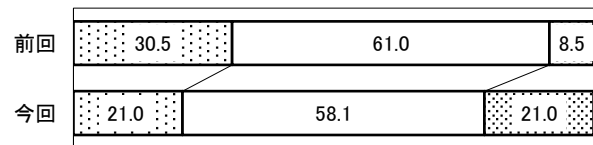
(5) 採算状況について



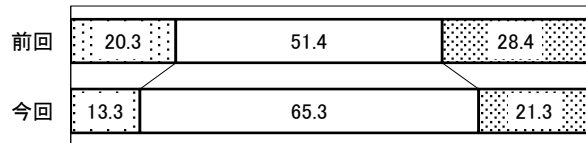
②鉄鋼・非鉄(15社)



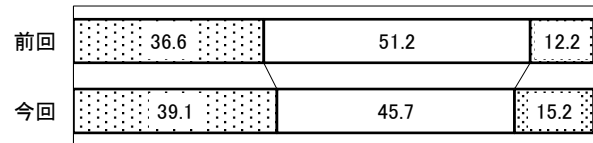
③金属製品(62社)



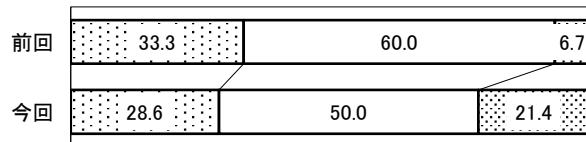
④一般機器(75社)



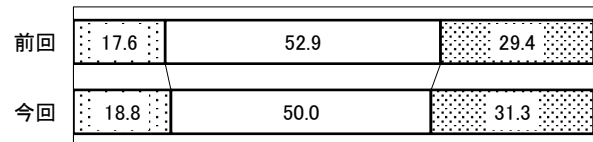
⑤電気機器(46社)



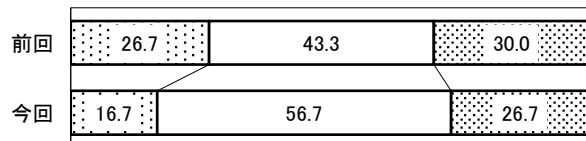
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・10月～12月期の採算状況の業況判断D I (「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は1.2となり、前期(7月～9月期)のD I値8.7と比べ7.5ポイント低下し、全体として大きな変化はなかったものの、一部の業種で「赤字」企業の割合が増加した。

○業種別

・D I値は、電気機器(23.9)、鉄鋼・非鉄(13.3)、輸送用機器(7.2)の3業種でプラス。「黒字」と「赤字」の回答が同数であった金属製品のみ±0となり、一般機器(▲8.0)、樹脂製品(▲10.0)、精密機器(▲12.5)の3業種でマイナスとなった。

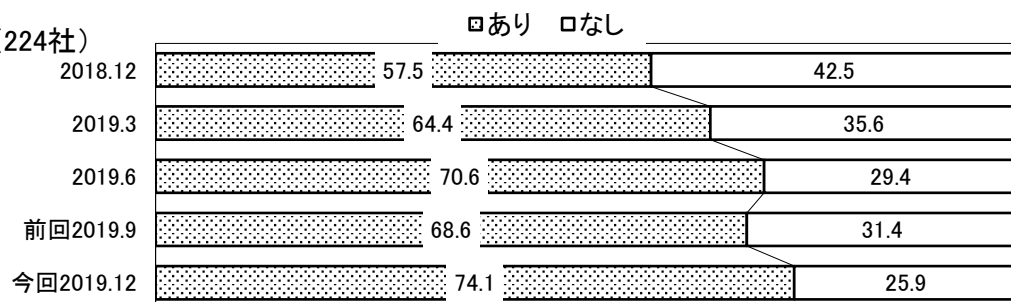
・D I値を前期と比較すると、一般機器(0.1ポイント)の1業種のみ改善傾向が見られたが、電気機器(▲0.5ポイント)、精密機器(▲0.7ポイント)、樹脂製品(▲6.7ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲10.2ポイント)、輸送用機器(▲19.4ポイント)、金属製品(▲22.0ポイント)の6業種は悪化傾向となった。

・金属製品、輸送用機器における「黒字」企業が減少し、「赤字」企業が増加した。

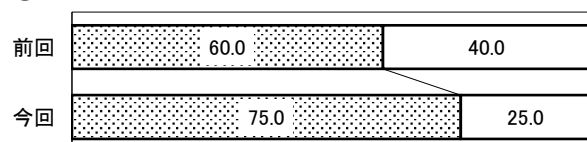
(6) 受注余力について

(%)

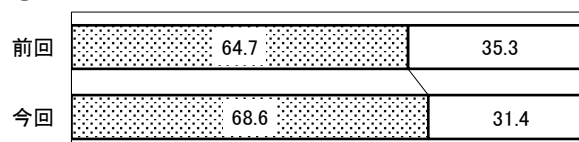
①全体(224社)



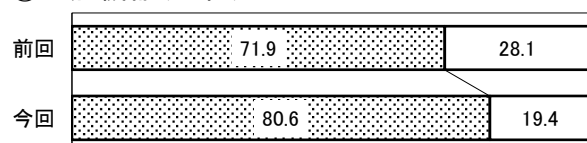
②鉄鋼・非鉄(12社)



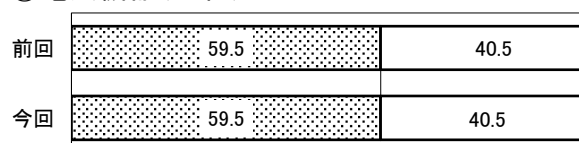
③金属製品(51社)



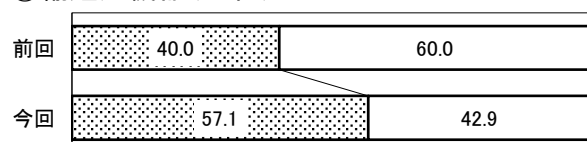
④一般機器(67社)



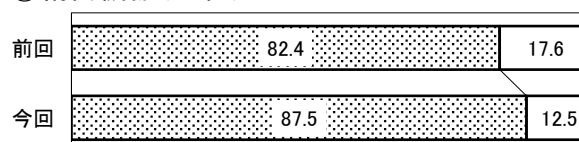
⑤電気機器(37社)



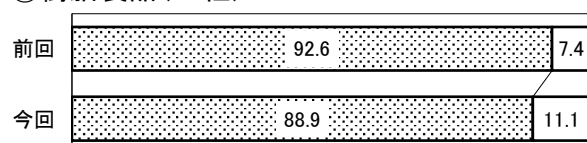
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(27社)



○全体

・10月～12月期の受注余力の業況判断D I（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は48.2となり、前期（7月～9月期）のD I値37.2と比べ11.0ポイント上昇した。

（「受注余力あり」企業が増加した＝マイナス傾向）

・10月～12月期は「受注余力あり」とする企業が74.1%と、前期と比較して5.5ポイントの上昇となった。

○業種別

・D I値は、樹脂製品（77.8）、精密機器（75.0）、一般機器（61.2）、鉄鋼・非鉄（50.0）、金属製品（37.2）、電気機器（19.0）、輸送用機器（14.2）の7業種全てで「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。

・D I値を前期と比較すると、電気機器のみ前期比±0。輸送用機器（34.2ポイント）、鉄鋼・非鉄（30.0ポイント）、一般機器（17.4ポイント）、精密機器（10.2ポイント）、金属製品（7.8ポイント）の5業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。樹脂製品（▲7.4ポイント）の1業種のみ前回比マイナスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp